


教養モジュール科目案内

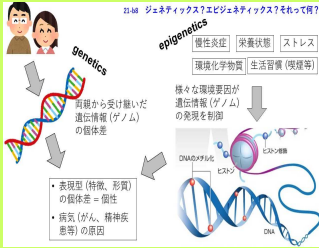
カテゴリー	生命医科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュールII
テーマ名	21-b7 コミュニケーションに重要な感覚器を学ぶ		
対象学部	医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	熊井 良彦	責任部局	医学部医学科
趣 旨	ヒトを含む生物は生きていく上で、様々な刺激を受けとりそれに対して反応する。古代アリストテレスはヒトが外界を感知する感覚機能を5つに分類した。すなわち視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚の五感である。現在ではヒトの感覚はもっとあり、細かく分類すると20以上あると考えられているが、これらの五感コミュニケーションにとって非常に重要であり、ヒトの生活の質(QOL)を決める重要な要素である。本テーマでは五感の仕組みや疾患との関連性、どのような障がいを受ける危険性があるか、また障がいを受けた場合どのようなハンディキャップを生じるかを考えていく。障がいから回復するような治療が行われ成果をあげているが、一方で、障がいが残る場合も多い。人間の叡智はハンディキャップを様々な方法で乗り越えてきたが、その過程・方法を一緒に考えていきたい。		
学生の皆さんへのメッセージ	ヒトのからだは驚くべき精密さでいろいろなものを感知し、反応していきます。みなさんと一緒にヒトの感覚について学び、その障がいとどのようにそのハンディキャップを補うか考えていきましょう。この思考過程はあらゆる問題解決に共通していきます。	説明動画	

科 目 名	担当者名	概 要	キーワード
「視覚の科学」を学ぶ	大石 明生 北岡 隆 上松 聖典 築城 英子	カンブリア紀に眼を持つ生物が爆発的に増え、多様性を持ってきた。本授業では生物の視覚器の発生からはじまり高度に発達した眼までの構造と機能をみていく。また視覚を脅かす病気やケガ、そしてそのために生じる「障がい」を概説する。さらに障害で生じたハンディキャップを補う方法を自ら考えてもらう。	眼の発生 眼の構造と機能 眼の障がい ロービジョンケア
重要な耳鼻咽喉科学(聴覚・嗅覚・味覚)を学ぶ	熊井 良彦 吉田 晴郎 北岡 杏子 西 秀昭	耳鼻咽喉・頭頸部領域は、聴覚・嗅覚・味覚・平衡覚に関わる感覚器や、摂食・嚥下、また人間が人間らしく生きる上で重要な音声・言語といった機能をつかさどる臓器を含んでいる。この領域の疾病や外傷によりこれらの機能は障がいされるが、それに対する対応や機能回復の過程につき概説し、その障がいのもつ社会的問題点につき考えてもらう。	聴覚、嗅覚、味覚、平衡覚、摂食、嚥下、音声、言語 頭頸部外科 機能障害

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応											※授業編成の視点	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	A	B
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考えるやり取りする力	国際・地域社会への関心	取り扱う人文科学の内容を	取り扱う社会科学の内容を
「視覚の科学」を学ぶ		◎	○			○	◎		◎	○	○	○
重要な耳鼻咽喉科学(聴覚・嗅覚・味覚)を学ぶ	◎	○	○		○	○	◎	◎	○	○		
◎ (特に重視) の数	1	1	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0
○ (重視) の数	0	1	2	0	1	2	0	0	1	2	1	1

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目

教養モジュール科目案内

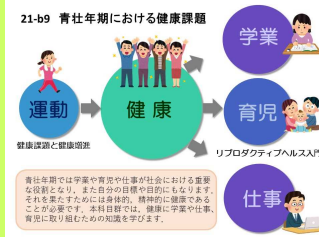
カテゴリー	生命医科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュールII
テーマ名	21-b8 ジェネティクス？エピジェネティクス？それって何？		
対象学部	医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	森内 浩幸	責任部局	医学部医学科
趣 旨	ゲノム DNA に記録されている遺伝情報を基にして、私たちの身体が作られ機能していく。その仕組みを研究する学問が遺伝学（ジェネティクス）である。でも同じ遺伝情報であるにもかかわらず、私たちの身体の作りや働きが異なってくることもある。遺伝情報の変化を伴わないのに、受け継がれていく特徴を研究する学問がエピジェネティクスである。私たち一人一人の個性を作り、また病気にも関係する仕組みをジェネティクスとエピジェネティクスの両面から考えて行きたい。		
学生の皆さんへのメッセージ	<p>ジェネティクス？エピジェネティクス？既に学生の皆さんの頭の中にはたくさんの？マークが浮かんでいるかも知れません。私たちヒトと他の生物との違いを作り、私たちヒト同士の個性を作り、そしてそれが世代から世代へと受け継がれるのは、ゲノムの遺伝情報の違い・変化に依ります（それを調べる学問がジェネティクス）。さらに遺伝情報には変化が起こっていないのに、私たちの身体の作りや機能に新たな変化が生じ、それが受け継がれることもあります（それを調べる学問がエピジェネティクス）。そしてそういう変化が病気の原因にもなるのです。この科目では総論的な概念と、各論的な病気の話をご紹介します。</p>		
	<p style="text-align: center;">説明動画</p> 		

科目名	担当者名	概要	キーワード
ジェネティクスとエピジェネティクスの違い	吉浦 孝一郎 木住野 達也 伊達木 澄人 池田 裕明	ゲノムの遺伝情報の違いや変化が人の個性を作り、それが次の世代に受け継がれること、そして遺伝情報の変化が起こっていないのに違いが生じ、しかもそれが受け継がれる仕組みと意義を学ぶ。	ゲノム、遺伝情報、エピジェネティクス、環境因子
ジェネティクスとエピジェネティクスと私達の健康	伊達木 澄人 今村 明 西田 教行 森内 浩幸	遺伝情報そのもの、または遺伝情報の発現のコントロールの違いや変化がもたらす病気の具体的な例を挙げて、私たちの健康に及ぼす影響を理解する。	インプリンティング関連疾患、発がん、精神疾患、プリオン、一卵性双生児

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応											※授業編成の視点	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	A	B
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考えるやり取りする力	関心	国際・地域社会への取り扱	人文科学の内容を取り扱う
ジェネティクスとエピジェネティクスの違い	○		○	◎		◎	◎		○		○	◎
ジェネティクスとエピジェネティクスと私達の健康	◎		○	○		◎	◎		○		○	◎
◎（特に重視）の数	1	0	0	1	0	2	2	0	0	0	0	2
○（重視）の数	1	0	2	1	0	0	0	0	2	0	2	0

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目

教養モジュール科目案内


カテゴリー	生命医科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュールII
テーマ名	21-b9 青壮年期における健康課題		
対象学部	医学部医学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	永橋 美幸	責任部局	医学部保健学科
趣 旨	<p>健康とは単に病気がないという状態ではなく、身体的・心理的・社会的・霊的に安寧な状態をいう。また健康課題を考えると病気や障害があってもその人がその人らしく生きられ、社会全体が共に生きる（共生）という視点が重要である。</p> <p>そのためにモジュールIIではモジュールIを基礎として、ライフサイクルの中でも特に青壮年期における基本的な健康課題と健康増進さらに男女共同での育児参加について教授する。</p>		
学生の皆さんへのメッセージ	<p>前提知識は特に問いませんが、健康増進や男女共同での子育てに関心がある方、ほかの人と協働して学習を進めていくことに関心がある方を歓迎します。特に本カテゴリーでは、教室内における参加型学習やフィールドワークを取り入れますので、知識や技術を主体的に学び、今の生活や将来に役立ててほしいと思います。</p>	説明動画	

科 目 名	担当者名	概 要	キーワード
リプロダクティブヘルス入門	永橋 美幸 宮崎 あすか 上野 美穂	妊娠・出産・育児，親子の絆形成，胎児・乳幼児の発育・発達と育児技術について学習し，次世代育成能力を修得する。	妊娠，出産，子どもの発育・発達，育児技術，男女共同
健康課題と健康増進	田中 貴子 平瀬 達哉 富永 ちはる 古川 美和	青年期にある大学生にとっての健康とは何かを学び，健康，そして体力増進のためのトレーニングすることの意義と方法，ならびに食生活等について理解する。	健康，体力，食生活，メンタルヘルス

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	※授業編成の視点	
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考えるやり取りする力	国際・地域社会への関心	A 取り扱う	B 社会科学の内容を 取り扱う
リプロダクティブヘルス入門	◎	◎	◎					○	○	○	○	○
健康課題と健康増進	◎	◎	◎					○	○		○	○
◎（特に重視）の数	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
○（重視）の数	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	2	2

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目

教養モジュール科目案内

カテゴリー	生命医学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュールII
テーマ名	21-b10 口腔健康管理と審美		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	佛坂 齊社	責任部局	歯学部
趣 旨	<p>現代社会は技術と情報化が進歩し、人々に便利で快適な生活提供していますが、一方で、種々の問題を抱えています。現代社会の急激な変化に適応できず、人々は様々なストレスを抱え、それは徐々に大きくなり、知らず知らずのうちに、健康と機能美に悪影響を及ぼしています。そこで、安全な食品、病気の予防や健康などに対応する社会的要望は世界的に高まっています。</p> <p>健康とは、身体と精神が健全であり、それがさらに社会的に調和のとれた状態のことです。また、「美しさ」は、外見だけではなく、心と身体の健康があって初めて成り立つものです。真の意味で美しく健康に生きるためには、食・心・健康・美を総合的に捉えていくことが必要です。</p> <p>このような背景を受け、豊かな社会生活を営む上に必要な「食育、口腔予防医学、機能健康美」についての情報を広く提供し、健康増進法を習得するための知識を活用することを教育目標としています。</p>		
学生の皆さんへのメッセージ	<p>「食」「美」「健康」に広い興味や関心のある人、大歓迎です。細胞生物、ストレス、予防医療、審美、老化に関わる基本的知識から専門的知識の習得を目指して、教員たちとコミュニケーションを図りつつ、他の学生さんと協働して学習を進めていきましょう。</p>	説明動画	

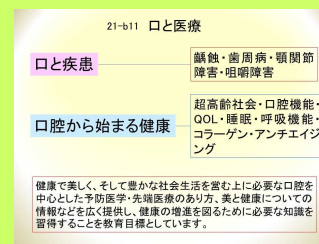
科 目 名	担当者名	概 要	キーワード
食の科学	五月女 さき子 藤原 卓 久松 徳子 佛坂 齊社 川下 由美子	食べることは生きる事そのものである。その入り口である「口腔と歯」は生きる事の入りの口というわけである。食に関連した人体の構造、機能とその疾患について、また栄養学的、予防医学的な観点から教養を深める。	口腔咽頭解剖学・摂食嚥下機能・栄養・肥満・メタボリックシンドローム・予防医学
審美	尾立 哲郎 平 曜輔 右藤 友督 江越 貴文 田上 直美	美とは何か、その歴史、およびその表現についての理解を深め、美に関わる医療を学ぶことによって、QOL（クオリティ・オブ・ライフ）の向上に役立てる。	美学・審美歯科・ホワイトニング・顔面形態異常

教養モジュールの 目標および授業編成 の視点との対応	① 知識・技能	② 主体性	③ 情報リテラシー	④ 論理的組み立て	⑤ 批判的検討	⑥ 倫理観	⑦ 多様性の理解	⑧ 協働性	⑨ 考えるやり取りする力	⑩ 国際・地域社会への関心	※授業編成の視点	
											A	B
											取り扱う 人文科学の内容を	取り扱う 社会科学の内容を
食の科学	○	○		○		◎	○		◎		◎	○
審美	◎	◎		○	○	◎	○		○	○	○	○
◎（特に重視）の数	1	1	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0
○（重視）の数	1	1	0	2	1	0	2	0	1	1	1	2

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目

教養モジュール科目案内

カテゴリー	生命医学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュールⅡ
テーマ名	21-b11 口と医療		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	村田 比呂司	責任部局	歯学部
趣 旨	健康で美しく、そして豊かな社会生活を営む上に必要な口腔を中心とした予防医学・先端医療のあり方、美と健康についての情報などを広く提供し、健康の増進を図るために必要な知識を習得することを教育目標としています。科目は2つ設置し、「口と疾患」では齲蝕、歯周病、顎関節障害、咀嚼障害などについて、「口腔から始まる健康」では口腔機能、QOLと口腔の関係、睡眠、呼吸機能、コラーゲン、アンチエイジングなどについて、それぞれアクティブラーニングを含んだ学習を行います。みなさまの健康増進にも役立つ授業です。		
学生の皆さんのメッセージ	口腔や歯科に関する知識は全く問いません。「口腔と医療」に興味や関心のある方、大歓迎です。口腔を中心とした予防医学・先端医療、健康に関する基礎的知識から専門的知識の習得を目指して、担当の教員たちとコミュニケーションを図りつつ、他の学生さんと協働して学習を進めていくことに関心のある方は、ぜひ受講してください。	説明動画	



科 目 名	担当者名	概 要	キーワード
口と疾患	吉村 篤利 鳥巢 哲朗 柳口 嘉治郎	顎関節障害、咀嚼障害、齲蝕、歯周病などの口の疾患の原因と症状、治療法、予防法について理解し、口の健康維持について必要な知識を健康増進に活かす。	顎関節障害・咀嚼障害・齲蝕・歯周病
口腔から始まる健康	村田 比呂司 鮎瀬 卓郎 山田 志津香	超高齢社会に対応する義歯による口腔機能の回復、睡眠や呼吸機能障害の原因や診断・治療法等について学ぶ。また、加齢に伴う歯槽骨のコラーゲンの質の変化とその機序を知り、生涯健康な歯や骨を維持するための知識を習得する。	超高齢社会・口腔機能・QOL・睡眠・呼吸機能・コラーゲン・アンチエイジング・長崎県

教養モジュールの 目標および授業編成 の視点との対応											※授業編成の視点	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	A	B
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考えるやり取りする力	関心	国際・地域社会への	取り扱う 人文科学の内容を
口と疾患	○	◎		○	○		○	○	○		○	○
口腔から始まる健康	○	◎	○	○	○	○		○	○	○	○	○
◎（特に重視）の数	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
○（重視）の数	2	0	1	2	2	1	1	2	2	1	2	2

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目